



2



3

1階段で地下22メートルまで降り、地下河川トンネルの世界へ 2工事担当者からの説明を集中して聞きます 3掘削した土砂を運ぶズリ鋼車は大迫力



1

高尾川地下河川トンネル探検隊、出動!

12月2日(月)、6日(金)、小・中学生を対象にした高尾川地下河川築造工事の現場見学会を行い、市内の11小学校、5中学校を代表した児童・生徒が参加しました。

トンネルに降りる前にはシールドマシンの構造や、セグメント(トンネルの壁となるブロック)の仕組みについて説明があり、トンネル内では、ヘルメットに内蔵されたスピーカーで説明を聞き、時折メモを取りながら、見学をしました。

見学後は、たくさんの質問が出て「学んだことをみんなに伝えたい」という意見がありました。

児童・生徒の皆さんの感想を、感想文から抜粋して紹介します。

小学生の感想

- 川の下を通っていると考えると怖くなったけど、トンネルの壁が頑丈だったので安心しました。
- 土木工事に興味があるので、見学できていい経験になりました。
- 自分も人の役に立つことができよう学校生活を頑張りたいです。
- 私たちの生活を守るため、命をかけて働いている皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

中学生の感想

- 騒音対策で防音壁が使用されているなど、周辺の市民のことを考えて行われていると感じました。
- 世界有数の精度のシールドマシンが私たちの住む場所の近くにあると思うとうれしいです。
- 事業に携わる一人ひとりが筑紫野市のことを考えてくれていると感じました。
- 大雨が降っても安心して橋を渡るのを楽しみにしています。

高尾川地下河川築造工事とは

平成26年8月22日の豪雨により二日市地域で浸水被害が多数発生しました。これを契機に、福岡県那珂県土整備事務所が流域の浸水対策として進めている「高尾川床上浸水対策特別緊急事業」の主要事業です。

増水した水を流すトンネルを高尾川の地下に作るもので、平成30年8月にトンネルの掘削をするシールドマシンの発進式が行われて以降、早期完成を目指して掘削を行っています。